

平成28年3月11日

NPO法人 寺内町久宝寺 様

父と子のふれあいイベント 報告書

NPO法人 樹木・環境ネットワーク協会

1. 実施日時：平成28年3月6日（日） 13:00～15:00

2. 場所：八尾市まちなみセンター

3. 参加人数

参加者：親子11組25名

NPO法人 寺内町久宝寺：6名

NPO法人 樹木・環境ネットワーク協会：7名

(大川、上田、東川、林、岩崎、荒木、伊東)

4. 活動内容、感想など

天気予報は雨模様だったが、曇りながらも割と暖かい1日となり、丁度良いイベント日和となった。

母親と子供さんの家族が多かったが、参加者を3つのグループに分け、以下のプログラムを皆で体験してもらった。

1) シイタケの菌打ち

クヌギの枝（径5～8cm、長さ60cm位）にドリルで穴をあけ、シイタケ菌を打ち込んでもらった。シイタケ栽培は忍耐の必要な作業で、打ち込んでから2夏を越して再来年の秋から収穫が可能となる。シイタケが発生しているホダギを1本持って来て皆に見てもらい、栽培の注意点のチラシを渡して、頑張って育ててもらおうようお願いした。

原木に穴をあける作業は、みなさん体験したことはないので、子供さんには少し危険かと思ったが、ケガもなく楽しんでくれたようだ。

2) 自然工作

マテバシイのみを使ったペンダントと、メタセコイアの実の殻を使ったりリスの置物作りを体験してもらった。

くるくる動く動眼を付けたり小さな穴をあけたりなど、少しこわぎが必要だが、可愛いものが出来上がった。このような工作はまだまだ色々なものがあり、楽しく体験できるとおもう。

3) 押し花のラミネートと葉っぱの刷りだし

事前に用意した押し花をラミネートして飾りやシオリを作ったり、色々な葉っぱの上に紙を置き、色鉛筆でなぞって浮き出し模様を楽しんでもらった。押し花はうまく乾燥させないと元の色が褪せてしまうので、難しい。まちなみセンターにあった花びらをそのままラミネートした人もいたが、意外にきれいにできたようだ。

5. アンケート結果

参加された方に簡単なアンケートをお願いし、17枚の回答を得た。

1) 参加の状態

- ・お母さんと子供さん：11枚
- ・お父さんと子供さん：3枚
- ・その他：3枚

2) 内容について

- ・すべての項目で楽しかったと回答：11枚
- ・ドングリペンダントで、どちらでもないと回答：2枚
- ・リスの置物で、どちらでもないと回答：1枚
- ・花のラミネートで、どちらでもないと回答：2枚
- ・葉っぱの刷りだしで、どちらでもないと回答：2枚

3) 今後も参加したいですかとの質問

- ・参加したいと回答：13枚
- ・分からないと回答：3枚
- ・内容によって参加と回答：1枚・・・この方は高槻で開催された催しで“光るドロ団子”を見て、やってみたいとのコメントを記入されています。

6. あとがき

今回のイベントは、久宝寺緑地の管理事務所より紹介を受けて取り組んだ。内容的には現在久宝寺緑地で毎月1回開催している、レッツ久宝探検隊の活動内容に準じて、家族連れの方が楽しめるようなプログラムをいくつか選んで行った。ここ寺内町はなかなか静かな街並みで、まちなみセンターでの活動も気持ちよく進めることが出来た。参加された家族の方からも、楽しかったとの声を頂き非常に嬉しい。

ご協力いただいた、NPO法人 寺内町久宝寺の皆さんや久宝寺緑地の関係者皆さん、大変有難うございました。

次ページに活動の様子を添付します。

父と子のふれあいイベント 活動写真



押し花のラミネート 1



押し花のラミネート 2



押し花のラミネート 3



葉っぱのこすり出し 1



葉っぱのこすり出し 2



木の実の動物



ドングリペンダント



シイタケ菌打ち 1



シイタケ菌打ち 2